

令和4年度  
事業報告及び決算報告書



公益財団法人 千葉県下水道公社

— 目 次 —

公益財団法人千葉県下水道公社の概要 .....	1
令和4年度事業報告	
I 事業概要 .....	2
II 事業別概要 .....	3
公益目的事業	
1. 普及啓発事業 .....	3
2. 管理事業 .....	5
3. 建設事業 .....	7
III 庶務	
評議員会及び理事会の開催状況 .....	8
役職員の状況	
役員一覧表 .....	10
評議員一覧表 .....	10
職員の状況 .....	11
組織図 .....	11
令和4年度決算報告	
貸借対照表 .....	12
正味財産増減計算書 .....	13
正味財産増減計算書内訳表 .....	17
財務諸表に対する注記 .....	20
附属明細書 .....	22
財産目録 .....	23

# 事業報告書

## 公益財団法人千葉県下水道公社の概要

下水道は市街地の雨水排除及び生活排水などの汚水処理により都市の生活環境を改善し、河川・湖沼等の水質を保全するために不可欠な施設です。しかしながら、下水道事業着手済の市町村では下水道施設の建設及び維持管理に要する経費の節減並びに技術職員の安定確保、また新たに下水道事業を着手する市町村では財政負担及び技術者の確保等が課題となっています。

このような状況から公益財団法人千葉県下水道公社は、下水道知識の普及啓発、下水道技術者の養成を行い、併せて下水道施設の管理、下水道事業に係る計画設計・建設工事の受託並びに財政援助を積極的に行い、千葉県下水道整備の推進を図ることで、県民の生活環境の改善と河川、湖沼等の水質が保全されることを目的として設立されました。

### 【概 要】

- |            |   |
|------------|---|
| 1 法人の名称    | 公益財団法人 千葉県下水道公社   |
| 2 設立年月日    | 平成 4 年 3 月 2 5 日<br>(平成 2 5 年 4 月 1 日 公益財団法人として名称変更及び移行登記)  |
| 3 事業所及び所在地 | 本 社<br>総務部総務課 ・ 施設管理部管理課 ・ 建設部建設課<br>千葉県美浜区磯辺 8 - 2 4 - 1<br><br>施設管理部<br>花見川処理場<br>千葉県美浜区磯辺 8 - 2 4 - 1<br><br>花見川第二処理場<br>千葉県美浜区豊砂 7<br><br>手賀沼処理場<br>我孫子市相島新田 8 5 - 5<br><br>江戸川第二処理場<br>市川市福栄 4 - 3 2 - 2<br><br>江戸川第一処理場<br>市川市本行徳地先 |
| 4 役職員及び評議員 | P 1 0 参照  |
| 5 基本財産     | 3 億 6 千 7 百万円<br>(千葉県：2 億円 千葉県企業局 3 千万円<br>県内 5 4 市町村：1 億 3 千 7 百万円)  |
| 6 事業内容     | (1) 下水道知識の普及啓発<br>(2) 下水道技術の調査・研究<br>(3) 下水道技術者の養成<br>(4) 流域下水道施設の維持管理等及び修繕工事に係る設計・設計積算・施工監理・技術的支援<br>(5) 公共下水道施設の設計・設計積算・施工監理・建設工事・技術的支援   |

# 令和4年度事業報告

## I 事業概要

当社は、流域下水道の維持管理及び公共下水道に関する業務を行うほか、下水道知識の普及啓発活動、下水道の調査研究及びその成果の活用等を行い、千葉県及び市町村の下水道事業に協力し公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行った。

また、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行し、新たな体制のもと、これまで培った知識や経験を活かし、公益性の高い法人として、より一層の適正かつ効率的な事業運営に役職員が一丸となって努めた。

- 1 「経営計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき、公共用水域の水質保全や循環型社会の構築などに努めるとともに下水道事業を総合的にサポートするために資質の向上に努め、目的達成を目指した。

### 「経営理念」

- 1 県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、適正な下水処理に努めます。
  - 2 社会情勢の変化に対応し、下水道の持つ資源やエネルギーを有効的に活用した循環型社会構築のため、その一翼を担う公社を目指します。
  - 3 下水道事業を総合的にサポートする公社として、さらなる技術力向上に努めます。
  - 4 職員一人一人が自立・自覚し、効率的な業務執行に努め、健全な公社運営を目指します。
- 2 「下水道の日」（9月10日）を中心に幹線道路に設置されている歩道橋に標語入り横断幕を掲出し、地元紙へ寄稿するとともに広告を掲載し下水道についてのPRや理解を深めてもらう広報活動を行った。
  - 3 下水道教室を開催し、実際に見て・触れることにより下水道の役割や仕組みを体験してもらう活動を行った。
  - 4 下水道技術の向上を図るため、下水道技術全般に関する調査研究を行った。
  - 5 千葉県や県内市町村の下水道に従事する職員を対象に共通課題や情報交換等を行い、共通認識のもと適正な運転管理が行えるようにした。
  - 6 千葉県から印旛沼、手賀沼、江戸川左岸流域流域下水道及び再生水利用下水道、下水処理水再利用の各施設の維持管理業務に係る履行監視業務等や修繕工事に係る設計積算業務、施工監理業務等を受託し、流入水を適正に処理し、公共用水域の水質保全と循環型社会の構築に寄与した。
  - 7 千葉県及び県内市町村から公共下水道施設に係る設計業務、建設工事、施工監理業務を受託し、計画から整備を行った。

## Ⅱ 事業別概要

### 【普及啓発事業】

#### 1 下水道の日行事

「下水道の日」（9月10日）に合わせて、下水道に対する県民の理解と関心を深めることを目的に次の諸行事を行った。

- (1) 下水道推進標語入り横断幕を掲出した。（千葉市稲毛区穴川交差点歩道橋他6か所）
- (2) 交通機関での下水道PRポスターを掲示した。（JR線他）
- (3) 県内市町村へ下水道PRポスター及び啓発品（エコスポンジ）を配布した。
- (4) 新聞、フリーペーパー及びラジオでPR広告・放送を行った。（千葉日報・bayfm他）
- (5) 集客施設最寄駅の大型スクリーンでPR広告を行った。（海浜幕張駅前他2か所）
- (6) ホームページにより下水道の仕組みや役割、当社の事業等などの情報を発信した。

#### 2 処理場見学

例年は年間で約1,000人（手賀沼終末処理場を除く全処理場の合計）を受け入れているが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和4年度も受け入れを中止している。

#### 3 「出張下水道教室」の開催

職員が小学校へ出向き、下水道の仕組みなどを説明するとともに、実際に汚した水をきれいにする実験や微生物を観察する下水道教室を行った。

また、下水道の正しい使い方を説明して、水環境に負担をかけない生活を家族にも取り組んでもらうように説明した。

新型コロナウイルスの感染防止のため、公社職員は検温と消毒を徹底したうえで授業を実施した。また、教卓にはスクリーンを設置し、フェイスシールドを装着した。

令和4年度	学校数	授業数	受講者
	15校	38授業	1,223人
累計	294校	592授業	21,130人

#### 4 広報誌等の作成

- (1) 副読本「下水道を学ぼう」の発行
- (2) 広報誌「きらら」の発行（56号）

## 5 下水道技術の調査研究

(1) 下水道に係る専門図書を収集した。

(2) 共同研究として次の研究を実施し、完了した調査研究結果を広く周知するため、令和4年8月の「下水道展'22東京」に合わせて開催された「第59回下水道研究発表会」において発表するとともに公社ホームページに掲載した。

テ ー マ	都市下水処理における有機物分解に要求する酸素量とその時間変化の調査に関する研究
実施目的	下水処理場における有機物除去機構の詳細を明らかにし、現在のエアレーション及び汚泥滞留時間（SRT）などから活性汚泥の性能を技術的に示すことで、合理的な省エネルギー方策への情報提供を目的とする。
実施期間	平成31年4月～令和4年3月
実施場所	東京理科大学・江戸川第二終末処理場他
共 同 者	千葉県・当公社・学校法人東京理科大学

## 6 下水道技術者の養成

市町村及び県下水道担当職員を対象とする講習会を、新型コロナウイルス感染症からオンライン方式により開催した。また、市町村下水道担当職員を対象にした研修参加に要する費用の一部助成を行った。

開 催 日	令和5年3月2日(木)
テ ー マ	「知っておくべき下水道の基礎知識」 内容 ・下水道のしくみと専門用語の解説 ・水処理設備および汚泥処理設備の特徴 ・安心安全な維持管理について ・これからの下水道事業の課題
講 師	地方共同法人 日本下水道事業団 研修センター 教授 大 鹿 純 一 氏
受講者数	100名

## 7 その他

下水道の仕組みを分かりやすくするための「啓発施設の整備」や県内市町村に対して災害が発生した際に必要な「資機材等の支援」、県内市町村職員に対する「研修参加支援」を特定費用準備資金としてそれぞれ積立てて活用している。

## 【管理事業】

### 1 印旛沼流域下水道施設管理受託

千葉県から千葉市、佐倉市他（計13市町）の印旛沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

### 2 手賀沼流域下水道施設管理受託

千葉県から松戸市、柏市他（計7市）の手賀沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

### 3 江戸川左岸流域下水道施設管理受託

千葉県から市川市、船橋市他（計8市）の江戸川左岸流域の汚水を処理する流域下水道施設及び江戸川第二終末処理場の覆蓋上部等に建設された「いこいの広場」の維持管理業務（市川市管理部分を除く）及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

### 4 再生水利用下水道施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を高度処理し、再利用水として幕張新都心の一部地区に供給する再生水利用下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

### 5 下水処理水再利用施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を幕張新都心地区において地域冷暖房システムの熱源として送水する下水処理水再利用施設の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

### 6 花見川処理水再利用事業

幕張新都心地区において東京都市サービス㈱が行う地域冷暖房事業の熱源として花見川終末処理場の処理水を千葉県から承認された処理水利用権に基づき供給した。



## 流域下水道施設の概要

令和5年3月末現在

流域名	印旛沼 流域下水道		手賀沼 流域下水道	江戸川左岸 流域下水道	
	花見川 終末処理場	花見川第二 終末処理場	手賀沼 終末処理場	江戸川第二 終末処理場	江戸川第一 終末処理場
供用開始	昭和49年4月	平成6年6月	昭和56年4月	昭和56年4月	令和3年3月
処理面積	18,123.9ha		7,729ha	11,458.7ha	
処理人口	1,319,855人		631,114人	1,239,067人	
管渠延長	170.9km		88.3km	105.6km	
中継ポンプ場	10か所 ※		1か所	3か所 ※	
流入水量(年間)	93,748,019m <sup>3</sup>	58,411,228m <sup>3</sup>	79,536,969m <sup>3</sup>	133,462,900m <sup>3</sup>	8,556,392m <sup>3</sup>
同(日平均)	256,844m <sup>3</sup> /日	160,031m <sup>3</sup> /日	217,910m <sup>3</sup> /日	365,652m <sup>3</sup> /日	23,442m <sup>3</sup> /日
処理場面積	約21ha	約24ha	約40ha	約26ha	計画 約30ha
関連市町村	12市1町		7市	8市	
	千葉市、船橋市、成田市、佐倉市 習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市 四街道市、八街市、印西市、白井市 富里市、酒々井町		松戸市、柏市 流山市、我孫子市 鎌ヶ谷市、印西市 白井市	市川市、船橋市、松戸市、野田市 柏市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市	

※ 印旛沼・江戸川左岸連絡幹線のポンプ場2か所は重複している。(本北方ポンプ場・習志野ポンプ場)

施設名	再生水利用下水道施設	下水処理水再利用施設
供用開始	平成元年10月	平成3年10月
供給地域	幕張新都心地区 幕張海浜公園ほか7施設	幕張新都心地区 約48.9ha
供給水量(年間)	178,115m <sup>3</sup>	26,725,349m <sup>3</sup>
同(日平均)	488m <sup>3</sup>	73,220m <sup>3</sup>

## 【建設事業】

### 1 公共下水道設計業務受託（10団体）

茂原市、佐倉市、八千代市、四街道市、白井市、富里市、香取市、芝山町、一宮町、長生村から幹線管渠等の実施設計業務を受託した。

### 2 公共下水道設計積算業務受託（2団体）

一宮町、長生村から公共下水道施設に係る設計積算業務を受託した。

### 3 公共下水道建設工事受託（12団体）

市川市、木更津市、茂原市、成田市、佐倉市、八千代市、印西市、白井市、富里市、香取市、芝山町、一宮町から幹線管渠及びポンプ場等の建設工事を受託した。

### 4 公共下水道施工監理受託（1団体）

長生村から公共下水道施設の建設工事に係る施工監理を受託した。

### Ⅲ 庶 務

評議員会及び理事会の開催状況

令和4年度における評議員会及び理事会の開催状況は次のとおり。

#### 【評議員会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 （臨時）	令和4年4月1日 （決議の省略）	議案第1号	理事の選任について（候補者 吉 田 謙 ）
		議案第2号	理事の選任について（候補者 山 口 浩 ）
第2回 （定時）	令和4年6月23日	議案第1号	令和3年度事業報告及び決算報告の承認について
		議案第2号	評議員の選任について（候補者 白 井 忠 和）
		議案第3号	理事の任期満了に伴う改選について
		報告事項	令和3年度補正収支予算及び令和3年度事業計画 及び収支予算について  令和3年度千葉県包括外部監査結果について

#### 【理 事 会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 （臨時）	令和4年4月1日 （決議の省略）	議案第1号	業務執行理事を選定し、専務理事にすることについて 候補者 理事 吉 田 謙
		議案第2号	業務執行理事を選定し、常務理事にすることについて 候補者 理事 山 口 浩
第2回 （臨時）	令和4年4月19日 （決議の省略）	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社常勤役員報酬月額 の決定について
第3回 （通常）	令和4年5月26日	議案第1号	令和3年度事業報告及び決算報告について
		議案第2号	令和4年度第2回評議員会及び付議する事項について
		報告事項	令和3年度千葉県包括外部監査結果に対する対応 状況（令和4年5月現在） 代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告 について

第4回 (臨時)	令和 4 年 6 月 23 日 (決議の省略)	議案第1号	代表理事を選定し、理事長にすることについて 候補者 理事 保坂 隆
		議案第2号	業務執行理事を選定し、専務理事にすることについて 候補者 理事 吉田 謙
		議案第3号	業務執行理事を選定し、常務理事にすることについて 候補者 理事 山口 浩
第5回 (臨時)	令和 5 年 1 月 18 日 (決議の省略)	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社職員給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社再雇用に関する規程の一部を改正する規程の改定について
		議案第3号	公益財団法人千葉県下水道公社常勤役員報酬月額 の改定について
第6回 (通常)	令和 5 年 3 月 20 日	議案第1号	令和4年度補正収支予算(第1号)について
		議案第2号	令和5年度事業計画及び収支予算について
		議案第3号	公益財団法人千葉県下水道公社就業規則の一部を 改正する規則の改定について
		議案第4号	公益財団法人千葉県下水道公社職員給与規程の一 部を改正する規程の改定について
		議案第5号	公益財団法人千葉県下水道公社職員の再雇用に関 する規程の廃止について
		議案第6号	公益財団法人千葉県下水道公社職員退職手当支給 規程の一部を改正する規程の改定について
		報告事項	代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告 について
第7回 (臨時)	令和 5 年 3 月 29 日 (決議の省略)	議案第1号	代表理事を選定し、理事長にすることについて 候補者 理事 高橋 伸生

役職員の状況

【評議員】

令和 5 年 3 月 31 日現在

役職名	氏 名	備 考
評 議 員	鈴 木 徹	鈴木徹税理士事務所代表（国税庁出身）
評 議 員	太 田 三 郎	千葉商科大学商経学部名誉教授
評 議 員	武 間 豊 夫	元当公社理事長（千葉県出身）
評 議 員	白 井 忠 和	前東京湾横断道路(株)常勤監査役（千葉県出身）

任期：4年（令和3年6月25日から令和8年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【役 員】

令和 5 年 3 月 31 日現在

役職名	氏 名	備 考	
理 事 長	保 坂 隆		常 勤
専務理事	吉 田 謙	(総務部長事務取扱)	常 勤
常務理事	山 口 浩	(建設部長事務取扱)	常 勤
理 事	高 橋 伸 生	千葉県県土整備部都市整備局長	非常勤
理 事	高 久 利 明	市川市水と緑の部長	非常勤
理 事	渡 邊 修 一	茂原市都市建設部長	非常勤
理 事	内 田 勝 範	柏市上下水道局理事	非常勤
理 事	大 澤 利 和	八千代市上下水道局長	非常勤
理 事	堀 越 浩 貴	芝山町まちづくり課長	非常勤

任期：2年（令和4年6月23日から令和6年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【監 事】

令和 5 年 3 月 31 日現在

監 事	出 口 勝	君津市建設部長	非常勤
監 事	今 井 靖 容	公認会計士	非常勤

任期：4年（令和2年6月12日から令和6年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【職員の状況】

令和 5 年 3 月 31 日現在 (単位:人)

所 属		千葉県からの派遣	プロパー	計
総務部	部長 ※1			
	総務課		7	7
	計	0	7	7
施設管理部	部長		1	1
	管理課		3	3
	花見川処理場		7	7
	花見川第二処理場		3	3
	手賀沼処理場		5	5
	江戸川処理場		8	8
	江戸川第一処理場		4	4
計	0	31	31	
建設部	部長 ※2			0
	建設課		10	10
	計	0	10	10
合計		0	48	48

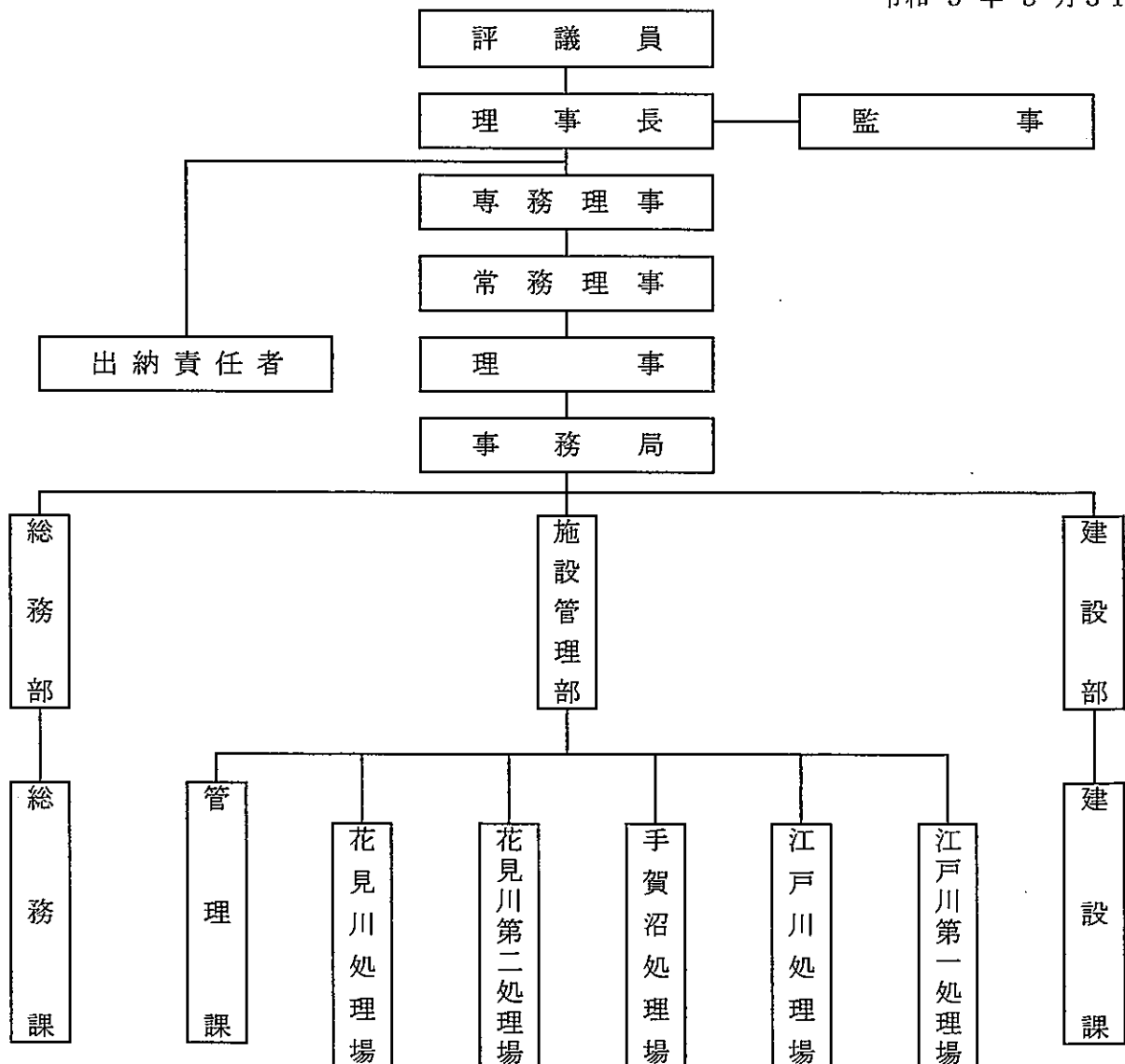
※1 専務理事事務取扱

※2 常務理事事務取扱

プロパー職員数に嘱託職員(5人)を含む。

【組織図】

令和 5 年 3 月 31 日現在



決 算 報 告 書  
( 財 務 諸 表 )

# 貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,593,896,152	2,156,846,483	437,049,669
未収金	185,481,709	365,660,444	△ 180,178,735
前払金	198,622	198,767	△ 145
仮払金	174,900	0	174,900
貯蔵品	90,368,756	85,624,676	4,744,080
未成工事支出金	1,321,658,203	832,285,754	489,372,449
流動資産合計	4,191,778,342	3,440,616,124	751,162,218
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	7,001,967	7,005,781	△ 3,814
基本財産投資有価証券	359,998,033	359,994,219	3,814
基本財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	304,972,824	317,900,129	△ 12,927,305
調査研究事業積立資産	12,105,000	12,105,000	0
普及啓発事業積立資産	294,325,000	322,895,000	△ 28,570,000
啓発施設積立資産	262,370,719	263,262,719	△ 892,000
災害支援積立資産	40,000,000	40,000,000	0
研修支援積立資産	4,929,000	6,700,000	△ 1,771,000
特定資産合計	918,702,543	962,862,848	△ 44,160,305
(3) その他固定資産			
工具器具備品	946,300	946,300	0
工具器具備品減価償却累計額	△ 946,298	△ 946,298	0
電話加入権	859,200	859,200	0
その他固定資産合計	859,202	859,202	0
固定資産合計	1,286,561,745	1,330,722,050	△ 44,160,305
資産合計	5,478,340,087	4,771,338,174	707,001,913
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,919,142,975	1,802,564,395	116,578,580
前受金	1,766,630,000	835,000,000	931,630,000
預り金	142,725,589	441,828,700	△ 299,103,111
賞与引当金	29,323,223	28,440,475	882,748
流動負債合計	3,857,821,787	3,107,833,570	749,988,217
2. 固定負債			
退職給付引当金	304,972,824	317,900,129	△ 12,927,305
固定負債合計	304,972,824	317,900,129	△ 12,927,305
負債合計	4,162,794,611	3,425,733,699	737,060,912
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(367,000,000)	(367,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	948,545,476	978,604,475	△ 30,058,999
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(613,729,719)	(644,962,719)	△ 31,233,000
正味財産合計	1,315,545,476	1,345,604,475	△ 30,058,999
負債及び正味財産合計	5,478,340,087	4,771,338,174	707,001,913



# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(1)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,361,464	1,530,177	△ 168,713
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	199	199	0
③ 事業収益			
下水道知識普及啓発事業収益	805,000	729,000	76,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	81,861,072	70,995,349	10,865,723
花見川第二終末処理場管理受託事業収益	48,859,871	56,295,458	△ 7,435,587
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	59,295,167	53,643,827	5,651,340
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,363,160,835	2,257,422,771	105,738,064
江戸川第一終末処理場管理受託事業収益	421,581,489	405,684,928	15,896,561
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,727,847	3,608,243	119,604
下水処理水再利用管理受託事業収益	52,369,810	80,470,960	△ 28,101,150
花見川処理水再利用事業収益	72,301,203	90,722,911	△ 18,421,708
公共下水道設計業務受託事業収益	257,700,009	181,963,642	75,736,367
公共下水道設計積算業務受託事業収益	4,600,000	6,727,273	△ 2,127,273
公共下水道建設工事受託事業収益	1,409,267,953	2,402,577,784	△ 993,309,831
公共下水道施工監理受託事業収益	7,163,637	8,236,364	△ 1,072,727
事業収益計	4,782,693,893	5,619,078,510	△ 836,384,617
④ 雑収益			
受取利息	0	398	△ 398
雑収益	67,700	30,366	37,334
雑収益計	67,700	30,764	36,936
経常収益計	4,784,123,256	5,620,639,650	△ 836,516,394
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	21,020,942	21,030,589	△ 9,647
報酬	1,420,749	1,420,749	0

(2)

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減
給料	165,854,520	171,807,374	△ 5,952,854
諸手当	93,022,459	97,301,528	△ 4,279,069
法定福利費	48,646,705	49,770,307	△ 1,123,602
退職給付費用	19,861,656	22,598,428	△ 2,736,772
賃金	4,958,239	4,925,890	32,349
旅費	993,482	976,236	17,246
厚生費	1,942,362	1,832,517	109,845
会議費	130,063	119,948	10,115
消耗品費	725,977,599	613,785,152	112,192,447
燃料費	2,334,498	3,435,760	△ 1,101,262
印刷製本費	3,490,071	3,333,359	156,712
光熱水費	209,100	172,500	36,600
通信運搬費	3,815,824	3,823,607	△ 7,783
手数料	879,291	657,152	222,139
賃借料	18,748,769	18,384,715	364,054
修繕費	331,881,000	357,122,000	△ 25,241,000
備品費	663,720	0	663,720
保険料	305,443	299,410	6,033
交際費	21,304	1,608	19,696
諸税公課費	2,935,970	3,506,333	△ 570,363
広告費	708,530	408,530	300,000
諸謝金	198,797	277,730	△ 78,933
支払負担金	5,749,597	4,329,638	1,419,959
委託料	1,865,430,808	1,812,120,129	53,310,679
工事費	1,370,519,808	2,299,427,395	△ 928,907,587
施設管理費	72,301,203	90,722,911	△ 18,421,708
支払寄付金	24,118	24,118	0
賞与引当金繰入額	28,533,573	27,682,865	850,708
雑費	85,780	72,761	13,019
事業費計	4,792,665,980	5,611,371,239	△ 818,705,259
②管理費			
役員報酬	5,127,058	5,129,411	△ 2,353
報酬	346,524	346,524	0
給料	4,505,952	4,479,352	26,600
諸手当	3,536,585	3,442,603	93,982
法定福利費	2,340,169	2,297,721	42,448
退職給付費用	785,431	478,106	307,325
賃金	432,117	404,882	27,235

(3)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費	83,499	58,907	24,592
厚生費	462,741	432,606	30,135
会議費	31,722	29,255	2,467
消耗品費	858,235	860,956	△ 2,721
燃料費	14,111	13,161	950
印刷製本費	23,509	19,941	3,568
通信運搬費	220,879	218,881	1,998
手数料	76,667	72,484	4,183
賃借料	1,272,905	1,059,789	213,116
修繕費	0	0	0
備品費	0	0	0
交際費	5,196	392	4,804
諸税公課費	5,647	1,764	3,883
広告費	26,470	26,470	0
諸謝金	48,486	67,738	△ 19,252
支払負担金	418,312	360,732	57,580
委託料	201,476	242,305	△ 40,829
支払寄付金	5,882	5,882	0
賞与引当金繰入額	678,380	757,610	△ 79,230
雑費	8,322	8,413	△ 91
管理費計	21,516,275	20,815,885	700,390
経常費用計	4,814,182,255	5,632,187,124	△ 818,004,869
当期経常増減額	△ 30,058,999	△ 11,547,474	△ 18,511,525
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 30,058,999	△ 11,547,474	△ 18,511,525
一般正味財産期首残高	978,604,475	990,151,949	△ 11,547,474
一般正味財産期末残高	948,545,476	978,604,475	△ 30,058,999

(4)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,361,464	1,530,177	△ 168,713
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 1,361,464	△ 1,530,177	168,713
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産期末残高	367,000,000	367,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,315,545,476	1,345,604,475	△ 30,058,999

# 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(1)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,361,464			1,361,464
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	199			199
③ 事業収益				
下水道知識普及啓発事業収益	805,000			805,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	81,861,072			81,861,072
花見川第二終末処理場管理受託事業収益	48,859,871			48,859,871
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	59,295,167			59,295,167
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,363,160,835			2,363,160,835
江戸川第一終末処理場管理受託事業収益	421,581,489			421,581,489
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,727,847			3,727,847
下水処理水再利用管理受託事業収益	52,369,810			52,369,810
花見川処理水再利用事業収益	72,301,203			72,301,203
公共下水道設計業務受託事業収益	257,700,009			257,700,009
公共下水道設計積算業務受託事業収益	4,600,000			4,600,000
公共下水道建設工事受託事業収益	1,387,751,678	21,516,275		1,409,267,953
公共下水道施工監理受託事業収益	7,163,637			7,163,637
事業収益計	4,761,177,618	21,516,275	0	4,782,693,893
④ 雑収益				
受取利息	0			0
雑収益	67,700			67,700
雑収益計	67,700	0	0	67,700
経常収益計	4,762,606,981	21,516,275	0	4,784,123,256
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	21,020,942			21,020,942
報酬	1,420,749			1,420,749
給料	165,854,520			165,854,520
諸手当	93,022,459			93,022,459

(2)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
法定福利費	48,646,705			48,646,705
退職給付費用	19,861,656			19,861,656
賃金	4,958,239			4,958,239
旅費	993,482			993,482
厚生費	1,942,362			1,942,362
会議費	130,063			130,063
消耗品費	725,977,599			725,977,599
燃料費	2,334,498			2,334,498
印刷製本費	3,490,071			3,490,071
光熱水費	209,100			209,100
通信運搬費	3,815,824			3,815,824
手数料	879,291			879,291
賃借料	18,748,769			18,748,769
修繕費	331,881,000			331,881,000
備品費	663,720			663,720
保険料	305,443			305,443
交際費	21,304			21,304
諸税公課費	2,935,970			2,935,970
広告費	708,530			708,530
諸謝金	198,797			198,797
支払負担金	5,749,597			5,749,597
委託料	1,865,430,808			1,865,430,808
工事費	1,370,519,808			1,370,519,808
施設管理費	72,301,203			72,301,203
支払寄付金	24,118			24,118
賞与引当金繰入額	28,533,573			28,533,573
雑費	85,780			85,780
事業費計	4,792,665,980	0	0	4,792,665,980
②管理費				
役員報酬		5,127,058		5,127,058
報酬		346,524		346,524
給料		4,505,952		4,505,952
諸手当		3,536,585		3,536,585
法定福利費		2,340,169		2,340,169
退職給付費用		785,431		785,431
賃金		432,117		432,117
旅費		83,499		83,499
厚生費		462,741		462,741
会議費		31,722		31,722
消耗品費		858,235		858,235

(3)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
燃料費		14,111		14,111
印刷製本費		23,509		23,509
通信運搬費		220,879		220,879
手数料		76,667		76,667
賃借料		1,272,905		1,272,905
修繕費		0		0
備品費		0		0
交際費		5,196		5,196
諸税公課費		5,647		5,647
広告費		26,470		26,470
諸謝金		48,486		48,486
支払負担金		418,312		418,312
委託料		201,476		201,476
支払寄付金		5,882		5,882
賞与引当金繰入額		678,380		678,380
雑費		8,322		8,322
管理費計	0	21,516,275	0	21,516,275
経常費用計	4,792,665,980	21,516,275	0	4,814,182,255
当期経常増減額	△ 30,058,999	0	0	△ 30,058,999
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 30,058,999	0	0	△ 30,058,999
一般正味財産期首残高	978,604,475	0	0	978,604,475
一般正味財産期末残高	948,545,476	0	0	948,545,476
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	1,361,464	0		1,361,464
②一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 1,361,464	0		△ 1,361,464
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000		0	367,000,000
指定正味財産期末残高	367,000,000		0	367,000,000
III 正味財産期末残高	1,315,545,476	0	0	1,315,545,476

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法  
棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
無形固定資産…定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
ア. 賞与引当金・・・職員に対する賞与（期末勤勉手当）の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき見積額を計上している。  
イ. 退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産普通預金	7,005,781		3,814	7,001,967
基本財産投資有価証券	359,994,219	3,814		359,998,033
小 計	367,000,000	3,814	3,814	367,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	317,900,129	18,187,087	31,114,392	304,972,824
調査研究事業積立資産	12,105,000			12,105,000
普及啓発事業積立資産	322,895,000		28,570,000	294,325,000
啓発施設積立資産	263,262,719		892,000	262,370,719
災害支援積立資産	40,000,000			40,000,000
研修支援積立資産	6,700,000		1,771,000	4,929,000
小 計	962,862,848	18,187,087	62,347,392	918,702,543
合 計	1,329,862,848	18,190,901	62,351,206	1,285,702,543

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財 産からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
基本財産普通預金	7,001,967	(7,001,967)	—	—
基本財産投資有価証券	359,998,033	(359,998,033)	—	—
小 計	367,000,000	(367,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	304,972,824	—	—	(304,972,824)
調査研究事業積立資産	12,105,000	—	(12,105,000)	—
普及啓発事業積立資産	294,325,000	—	(294,325,000)	—
啓発施設積立資産	262,370,719	—	(262,370,719)	—
災害支援積立資産	40,000,000	—	(40,000,000)	—
研修支援積立資産	4,929,000	—	(4,929,000)	—
小 計	918,702,543	—	(613,729,719)	(304,972,824)
合 計	1,285,702,543	(367,000,000)	(613,729,719)	(304,972,824)



4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
千葉県公募公債			
平成25年度第12回(10年)	39,998,033	40,253,200	255,167
平成26年度第4回(10年)	40,000,000	40,324,000	324,000
平成27年度第4回(10年)	40,000,000	40,542,800	542,800
平成28年度第6回(10年)	40,000,000	40,109,600	109,600
平成30年度第5回(10年)	40,000,000	39,907,600	△ 92,400
令和元年度第5回(10年)	40,000,000	39,470,400	△ 529,600
令和2年度第8回(10年)	40,000,000	39,031,200	△ 968,800
令和3年度第6回(10年)	40,000,000	38,705,200	△ 1,294,800
令和4年度第8回(10年)	40,000,000	40,095,200	95,200
合 計	359,998,033	358,439,200	△ 1,558,833

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	1,361,464
合 計	1,361,464

6. その他

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

職員退職手当支給規程に基づく退職一時金制度、中小企業退職金共済制度と閉鎖型確定給付年金制度を採用している。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	380,264,312
②中小企業退職金共済からの支給見込額	75,291,488
③退職給付引当金(①－②)	304,972,824

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 退職給付費用(勤務費用)	20,647,087
----------------	------------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、簡便法を採用しており、退職給付に係わる期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の退職金支給見込額を除いた額を退職給付引当金として計上している。

## 附 属 明 細 書

### 1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、内容の記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	28,440,475	29,323,223	28,329,205	111,270	29,323,223
退職給付引当金	317,900,129	18,187,087	31,114,392	0	304,972,824

# 財 産 目 録

令和 5 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	普通預金 千葉銀行本店営業部 千葉興業銀行本店営業部 京葉銀行本店営業部	運転資金として	2,537,515,277	
			36,362,115	
			18,760	
	定期預金 千葉銀行本店営業部 京葉銀行本店営業部		10,000,000	
			10,000,000	
	未収金	受託市町村等	公益目的事業に係る受託収益等	185,481,709
	前払金	労働保険料	令和5年度分	198,622
	仮払金	福利厚生費	令和5年度分(1/4半期)	174,900
	貯蔵品		薬品及びろ布他の年度未在庫	90,368,756
	未成工事支出金		繰越工事の支出済工事費	1,321,658,203
流動資産合計			4,191,778,342	
(固定資産)				
基本財産	現金預金	普通預金 千葉銀行本店営業部	7,001,967	
	投資有価証券	千葉県公募公債(10年) 9口	359,998,033	
(基本財産計)			367,000,000	
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 千葉興業銀行本店営業部	294,972,824	
		定期預金 千葉興業銀行本店営業部	10,000,000	
	調査研究事業積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	12,105,000	
	普及啓発事業積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	294,325,000	
	啓発施設積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	262,370,719	
	災害支援積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	40,000,000	
	研修参加支援積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	4,929,000	
	その他固定資産	工具器具備品	金属名板他 (工具器具備品減価償却累計額)	946,300 △ 946,298
電話加入権			859,200	
固定資産合計			1,286,561,745	
資産合計			5,478,340,087	
(流動負債)				
未払金 前受金 預り金 賞与引当金	業者に対する未払金他	公益目的事業に係る未払金他	1,919,142,975	
	未成工事費 市川市他	公益目的事業に係る前受収益	1,766,630,000	
	受託料精算残金他	公益目的事業の精算残金他	142,725,589	
	職員賞与当年度負担見込額	職員への賞与引当金	29,323,223	
流動負債合計			3,857,821,787	
(固定負債)				
退職給付引当金	職員に対する退職債務		304,972,824	
固定負債合計			304,972,824	
負債合計			4,162,794,611	
正味財産			1,315,545,476	